This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号 特表平9-512156

(43)公表日 平成9年(1997)12月2日

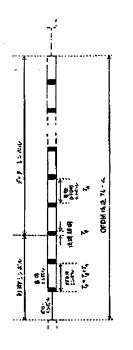
(51)Int.Cl. ⁶		級別記号	庁内整理番号	FΙ		
H04L	5/08		8124-5K	H04L	5/08	
H04J	11/00		8124-5K	H04j	11/00	Z

		农能监密	有 予備審査開球 有 (全 13 頁)
(21) 出願番号 (86) (22) 出顧日	特題平8-504719 平成7年(1995) 7月20日	(71) 出頭人	コンレ, テイルマール ドイツ連邦共和国 デーー81247 ミユン
(85)翻訳文提出日	平成9年(1997)1月20日		ヘン ベンダーシユトラーセ 23
(86) 国際出願番号	PCT/EP95/02868	(72) 発明者	ベツク, クリストフリード
(87)国際公開番号	WO96/02989		ドイツ連邦共和国 デーー84072 アウ・
(87)國際公開日	平成8年(1996)2月1日		イー・デー・ハラータウ シースルガス
(31) 優先権主張番号	P4425713. 9		3
(32) 優先日	1994年7月20日	(74)代理人	弁理士 田中 浩 (外2名)
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)		
(81)指定国	EP(AT, BE, CH, DE,	1	
DK. ES. FR, C	GB, GR. IE. IT. LU, M	1	
C, NL, PT, SI	E), AU, CA, CZ, FI, H]	
U, JP, KR, PI	L, U\$		

(54) 【発明の名称】 特競波ネットワークにおける多量キャリア伝送

(57)【要約】

ディジタルコード化データでOFDM変調を行うことに よって所要の信号伝送容量が減少するのを防止するため に、各OPDM伝送フレームのフレーム・ヘッダ中の制 卸シンポル保護期間を各OFDM伝送フレームの所要デ ータ領域中のデータ・シンボル保護期間より長くする。 データ・シンボル保護期間の長さは復期時に求められ、 次いでデータ・シンボル検出タイミングがその保護期間 の長さに応じて求められる。



【特許請求の範囲】

1. 連続するOFDM伝送フレームの形式に構成されたOFDMシンボルの時間シーケンスが生成され、上記OFDM伝送フレームの各々が、1つ以上の制御シンボルを有するフレーム・ヘッダと複数のデータ・シンボルを有する有効データ領域とからなり、連続する各制御シンボルまたは各データ・シンボルの間にそれぞれ保護期間を有する、ディジタル符号化データで多重キャリア変調を行う方法において、

上記各OFDM伝送フレームの上記フレーム・ヘッダにおける上記制御シンボルに対する保護期間を、上記各OFDM伝送フレームの上記有効データ領域における上記データ・シンボルに対する保護期間よりも長くなるように選択することを特徴とする、ディジタル符号化データで多重キャリア変調を行う方法。

- 2. 上記各OFDM伝送フレームの上記有効データ領域における上記データ・シンボルに対する上記保護期間の時間的長さが可変であることを特徴とする、請求項1に記載のディジタル符号化データで多重キャリア変調する方法。
- 3. 請求項1または2に記載された方法に従って変調された多重キャリアを復調して元のディジタル符号化データを復元する方法において、受信した上記各OFDM伝送フレームの上記有効データ領域における上記データ・シンボルに対する保護期間の長さを求め、上記データ・シンボルの各検出タイミングを、検出した上記保護期間の長さの関数として決定することを特徴とする、多重キャリア復調して元のディジタル符号化データを復元する方法。

(3)

特表平9-512156

【発明の詳細な説明】

持続波ネットワークにおける多重キャリア伝送

発明の詳細な説明

発明の属する技術分野

本発明は、請求の範囲の請求項1に従うディジタル符号化データで多重キャリア変調する方法と、そのようにして多重キャリア変調された信号を、請求項3に従って復調して元のディジタル符号化データを復元する方法に関する。この前提技術の変復調方法は、フランス特計出願公開明細音FR-A-2,639,495号により周知である。

発明の背景

フランス特許出願公開明細書FR-A-2,639,495号により公知の多重(多、 多数) キャリア変調 (直交周液数分割多重変調(orthogonal frequency division multiplex modulation)、OFDM変調と略称する)において、OFDMシンボ ル (符号) の時間シーケンスは、ディジタル符号化データで変調した多数のキャ リア(搬送液)をフーリエ解析することによって生成される。その各OFDMシ ンポルは連続するOFDM伝送フレームの形式に配置構成され、その各OFDM 伝送フレーム間は例えばゼロ (0) シンボルまたは空のシンポル (図1) 等によ って互いに隔てられ(分離し)ている。各OFDM伝送フレームは、1つまたは 数個の制御シンポルを有するフレーム・ヘッダと、その後に多数のデータ・シン ボルを有する有効データ領域(有用データ領域)とからなる。OFDM復号器に おいては、制御シンボルを使用して、各受信OFDM伝送フレームの開始点と各 OFDMシンポルを適正なタイミング (時間) で検出するとともに、レベル (ま たは振幅)と位相に応じて正確な変調キャリア周波数を復元する。変調器側では 、連続するOFDMシンポル (制御シンボルおよびデータ・シンボル) の各シン ボル相互間に保護(ガード)期間が挿入される。その保護期間が存在することに よって、マルチパス(多重通路)伝播に起因して復調器側で生じる連続OFDM シンポル間のクロストークまたは干渉を防止することができる。この公知文献で は、各OFDM伝送フレームにおけるフレーム・ヘッダおよび有効データ領域に おける全てのOFDMシンポルに対する保護期間の時間的長さは互いに同じであ

(4)

る。

一方、特に持続液(同一周液)ネットワーク(Gleichwellennetzen)における受信位置において各遅延時間の間に大きな差が生じる場合は、その保護期間は比較的長い持続時間を有するように設計して、連続する各OFDMシンボル相互間のクロストークを高い信頼性で防止するようにしなければならない。しかし、そのように長い持続時間の保護期間を設けると、その結果として、有効信号の伝送容量または伝送効率が減少する。そのような状況を改善するための1つの選択肢として、保護期間の長さを長くし、また有効信号期間の時間長を同じ程度長くすればよい。しかし、そのようにすると、復調器側の費用(コスト)が相当高くなる。即ち、要求される、OFDMデータ・シンボルの検出(走査)精度、検出値の記憶容量、およびその検出値から得られる時間信号の周波数解析の計算費用(コスト)が、それぞれ不相応に過大に高くなる。従って、OFDM変調システムのための保護期間は、ネットワーク計画設計の観点から伝送容量、受信機の費用(コスト)および周波数効率に対する欠点を容認するように妥協して選択しなければならない。

これに対して、本発明の目的は、大多数のアプリケーション (適用例) において有効信号の伝送容量を減少させないようにし、同時に、広域に拡がる持続液ネットワークの場合をも考慮した伝送方式を実現することである。

発明の概要

この目的は、請求の範囲の独立請求項1および3の発明の特徴によって解決される。

本発明は、必ずしも全ての放送サービスまたは同報サービスに対して長い保護期間を設ける必要はないという認識に基づいている。例えば、ローカル・ネットワーク構成と地域的(regional)ネットワーク構成と全国的(national)ネットワーク構成との間では、必要な保護期間の長さは相違する。最も重要な点は、広い範囲の地域に持続波動作で信号を供給することである。本発明の思想は、このような認識から始まったもので、各OFDM伝送フレームのフレーム・ヘッダに対する保護期間だけを、考え得る最悪の条件のアプリケーションを想定して設計し、

各OFDM伝送フレームの有効データ領域のOFDMシンボルに対する保護期間は、考慮対象のネットワークにおいて生じる実際の遅延時間差に応じて設計する

ことである。

図面の簡単な説明

図1は、従来技術によるOFDM伝送フレームの概略設計を示す。

図2は、本発明に従うOFDM伝送フレームの概略設計の3つの例を示す。

図3は、図2に従ってOFDM伝送フレームを生成するOFDM変調器のプロック図を示す。

図4は、図2に従うOFDM伝送フレームの変調信号を復調するOFDM復調器のブロック図を示す。

発明の実施態様の詳細な説明

次に、本発明を図面を参照して詳細に説明する。

図3は、送信側のOFDM変調の基本的な特徴を示している。最小の伝送単位を表すOFDMシンボルを形成するために、ディジタル符号化データのプロック310を考える。そのデータを用いて、周波数領域320における複数の直交キャリアが変調される。この処理において、標準的ディジタル変調技術(例、QPSK、QAM、等)を適用して各キャリアを変調する。逆フーリエ変換330を用いて、持続時間 T_A の周期(期間)の時間信号を合成する。この周期的時間信号は、データ・ブロック310の全体の情報を含んでおり、中間的に記憶された検出値340の形態で利用可能となるものであって、アナログ信号に変換され、シンボル持続時間 T_a で送信される。ここで、シンボル持続時間 T_a は、サイクル持続時間(周期)によって決まる最小限の有効シンボル時間 T_A より長くなるように選択される。送信信号に対する付加時間または送信信号の延長時間は、持続時間 $T_a = T_a - T_A$ を有する保護期間(guard interval)として表される。

本発明によれば、制御シンボル(Steuerungssymbole)に対する保護期間T。str (T. cont)は、データ・シンボルに対する保護期間T。dataより長い長さに 選択される。この選択は、OFDM伝送フレームにおけるOFDMシンボルの位置の関数の形で制御される切換え手段360によって実行される。ここで、保護

期間T, strgの長さは、広域の持続波ネットワークにおいて予想(想定)される 臨界条件においても連続する制御シンボル間のクロストークが回避(防止)でき るように選択される。保護期間T, data は、相異なる保護期間の集合(群)37

0の中から選択することができるものであり、個々の事例において実現した送信機のネットワーク構成によって実際に各遅延時間に差が生じたときにも、連続するデータ・シンボル間に実質的にクロストークが生じないような長さに設定される。データ・シンボルの保護期間Tg dataに対して選択した持続時間の長さは、制御シンボルの信号を用いて受信側に伝えられる。このようにして、例えば図2のa)~c)に示すような相異なる保護期間を有するOFDM伝送フレームが生成される。

受信側では、最初にOFDM伝送フレームに対して概略の粗い同期が取られる。受信した時間信号400は、最初に伝送されたOFDMシンボルウシンボル持続時間T。において、検査(探査)されて最初にサイクル持続時間T。が検出され(420)、周波数領域へのフーリエ変換(430)によって解析される。伝送されたデータ450は、個々のキャリアを復調して復元される。一方、精細な時間同期を取って同期を微調整するために、通常、最初(第1の)OFDMシンボルが基準シンボルとして用いられて、伝送チャンネルのインパルス応答の計算が可能となり、かつキャリア周波数の振幅および位相が復元できる。伝送チャンネルのインパルス応答を用いることによって、長い時間となるように選択された保護期間T。strgの持続時間の範囲内でマルチパス・チャンネルおよび持続波ネットワークにおいて生じる全てのエコーの振幅と遅延時間を知ることができる。

後続の各OFDMシンボルを検査してサイクル持続時間Txを検出するタイミングは、伝送フレームにおけるOFDMシンボルの位置の関数として、それぞれの保護期間の持続時間分だけ遅延される。制御490において、各制御シンボルおよび各データ・シンボルに対する保護期間の持続時間は、本発明に従って予め設定されている。そのデータ・シンボルに対する保護期間Tg data の持続時間は、先に、信号(制御シンボル)で伝えられて、取り得る相異なる保護期間495の集合(群)の中から選択される。

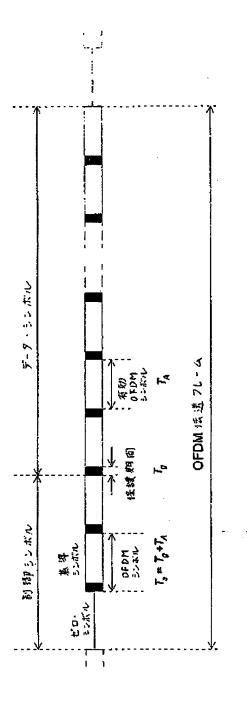
特表平9-512156

本発明による方法の利点は、比較的少ないハードウェア費用で保護期間の持続 時間を柔軟に設定することができ、それによってOFDMシステムの実現および ネットワーク計画の観点からOFDMシステムを最適化することが可能になるこ とである。また、本発明による方法の別の利点は、データ・シンボルに対して予

め設定した保護期間を越えるエコー遅延時間の差が生じたときに明らかになる。 制御シンボルに対して充分に長い保護期間が与えられている限り、さらに、基準 シンポルを用いて求められる伝送チャンネルのインバルス応答を用いた通常の方 法により、デーク・シンボルに対してエコー等化を行うことも可能となる。 (8)

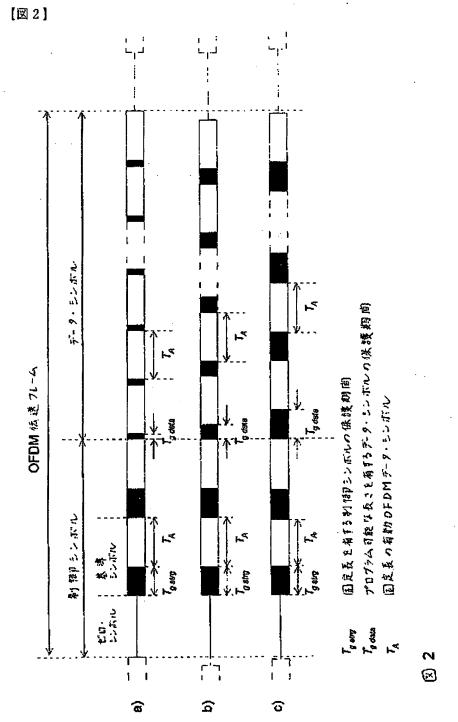
特級平9-512156

[図1]



<u>园</u>

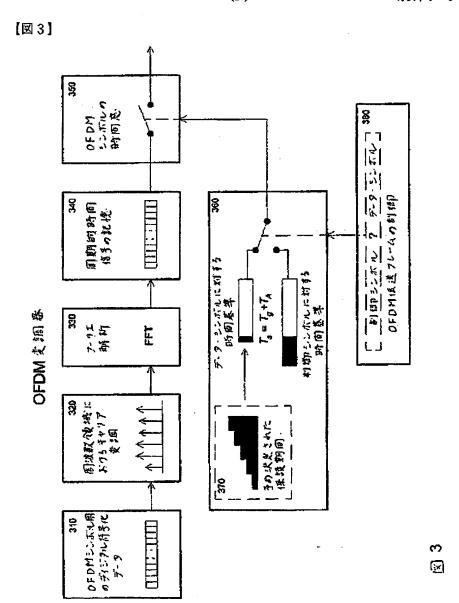




(9)

(10)

特表平9-512156



(11)**特表平9-512156** [図4] 8 授号データ \$ もり移アニンボル 图戏权领域 にお75キャリア 代部 判算にこにんの時向巻挙 データ・シンポルの時间を導 OFDM 瓊鶇 喬 $AT = gT \div gT$ 용 Ê 7-17 蘇斯 FF OFDM 7と-4 および シンボルの同期,および 保護契目の水気 Ş 国期的明间 信号n液数 おエび記憶 8 OFDMシンボル o 助回器 OFDM シンバル 同 繁発 8 **⊗**

60

特表平9-512156

【国際調査報告】

	INTERNATIONAL SEARC	H KEPUK I	legen al Application No
			PCT/EF 95/D2868
IPC 6	HO4LS/06 HO4HS/00		
According	o insecuent paiest Clarafectoco (IPC) or to both issociation decision	Acaton and IPC	
B. FIELD:	3 SEARCHED		
CPC 6	Bearmandon Carrenos (classicados Grieri killowań by ciasuńca HO4L HO4H	ben symbolis	
Dogunents	oen wanted other man commonen documentation to the extint that	anch discriments are the	duded in the licids scarther
Electronic o	क्षत होती है सामन है सम्बद्ध किया है जिस्सा के प्रतास्त्र के प्रतास्त्र के सम्बद्ध किया है है के स्व	se and where practical	reacti unio escoli
C. DOCUE	TAVES CONSIDER TO BE RELEVANT	—	
Category *	Cataban of Scoumers, with miscerum, where appropriate, of the fo	Menzul baterière	Resevant to claim to.
Á	RUNDFUNKTECHNISCHE MITTEILUNGEN, vol. 38, no. 1. January 1994 NOR! DE, pages 14-23, BRUGGER 'CAB - Gleichwellennetze 1,5CMz' see page 14, right column, paragipage 15, left column, paragraph 2	e bei	1-3
	see table l	-/	
X Fort	set decouncers are indeed as the conditioned all look C.	Ferent (apply	members are listed in aracic.
"A" docume	regards of stand documents; is defining the general state of the art which it can the to be of personals relevance	Gree in Andress	histord also: the insummental liking data as not in consider with the application has d too principle or theory unanaying the
"E" earlies d times d "I-" doxume which a citation	locument dut pedurched on er efter the interessives! B's B's which they described on promity clears(s) or	cases be considered to consider an investigation of parti-	usian followance; the charactal proventions and novel or cannot be considered to be stated to be such as the called relative the called relative to the called r
. Additions opening	nt phinisted pour to the ignomational filing date but	· श्राप्तस्थाः	නැගේ පැති රජා වැ. ජායාජ මම්ග බරවා ප්රජය සැක්වාත පැහැදු ප්රභාණය හා ම පුදාගතා පැතිවේ හේ වාද කළාස දුරුණක්, ධ්යාවේද
	ichaid completion of the spicrombonol march		the coternational starch report
3	November 1995	,	2 0. 11. 95
Numi and en	saling address of the ESA European Potent Office, P. S. 3812 Patentilean 2 NL - 2001 HV Reports Td, (+ 1)-101 140-2040, Th. 31 651 opp ed.	Automed clicy Scriften	
	FUE (* 21-10) \$40-3016	201.1861	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

待表平9-512156

INTERNATIONAL	SEARCH	REPORT
114:55:140110110110	35416	VEI OU

PCT/EP 95/02868

		PCT/EP 9	PCT/EP 95/02868	
	MAN BOCHMENTS COYNDERED TO BE RELEVANT		Betriant to claim No.	
catton,	Column of a numera, with indicebon, where appropriate, of the relevant passages		petrant or claim, so.	
L	SIGNAL PROCESSING IMAGE COMMUNICATION., vol. 5, no. 5/6. December 1993 AMSTERDAN NL. pages 379-403, TOURTIER ET AL. 'Multicarrier modem for digital HDTV terrestrial broadcasting' see figures 6-8,11 see page 385, paragraph 2 - page 387, paragraph 1		1-3	
	TEEE TRANSACTIONS ON CONSUMER ELECTRONICS, vol. 35, no. 3, August 1989 NEW YORK, US, pages 493-503, LE FLOCH ET AL "DIGITAL SOUND BROADCASTING TO MOBILE RECEIVERS' see figure 3 see page 496, left column, paragraph 1 see page 501, right column, paragraph 5		1-3	
!				
			!	
		- · ·		
1				